

## 明治時代初期の小学校（2）

明治12年9月にそれまでの「学制」が廃止され、新たに自由主義的な色彩の濃い「教育令」が公布されました。その特徴は、「町村或ハ数町村連合シテ公立小学校ヲ設置スヘシ」とあるように、町村が教育行政の主体となり、町村で学務委員を選挙して学校事務を行うことなどにありました。しかし、13年には改正教育令により、再び国と地方長官の監督が強化され、14年には小学扶助金（補助金）制度も廃止され、小学校に関する経費のほとんどが町村の負担となりました。

このようななか、東久留米市域の村々は、明治10年に設立した共立学校と成蹊学校の二つの小学校の運営にあたってきましたが、その最大の課題が校舎の確保でした。それまでは既存の民家や寺院を借用してきましたが、さまざまな困難を乗り越えて、明治17年12月に成蹊学校が前沢村69番地に新築開校し、翌18年10月には共立学校が南沢673番地に新築開校したのです。この明治17年を現在の公立小学校誕生の年としています。

当時は、田無町（明治12年町制施行）の田無学校、前沢村・下里村・柳窪村の成蹊学校、南沢村・小山村・落合村・門前村・神山村・柳窪新田・栗原新田の共立学校、上清戸村・中清戸村・清戸下宿・中里村の清明学校が学校組合を結成しており、明治18年8月に田無学校・成蹊学校・共立学校・清明学校が小学校設置開申の書類を連名（田無町外15ヶ村学務委員・前沢村外9ヶ村戸長・中清戸村外4ヶ村戸長・田無町戸長）で神奈川県に提出しています（『東久留米市史史料』資料98・99、『田無市教育百年史』資料264～267）。それによれば、当時の組合内の戸数は1309戸、学齢人数1332人、生徒数644人となっており、成蹊学校・共立学校・清明学校が普通小学科の中等科以下の授業を行い、田無学校が高等科以下の授業を行いました。

明治19年には「小学校令」が公布され、成蹊学校は成蹊尋常小学校、共立学校は共立尋常小学校となり、明治36年にそれぞれの学校に高等科を設置し、成蹊尋常高等小学校、共立尋常高等小学校となりました。

この間、行政的には前沢村外9ヶ村（連合戸長制）が合併して明治22年に久留米村が誕生しました。そして、明治39年3月に、それまでの二校を合併し、前沢南浦357番地の仮校舎を本校として久留米村尋常高等小学校が設置されたのです。その際、これまでの、成蹊尋常高等小学校を西分教場、共立尋常高等小学校を東分教場と改称しました。（山崎丈記）

# 公立小学校の変遷

村	明治7年	明治8年	明治9年	明治10年	明治17年	明治18年	明治19年	明治36年	明治39年	大正	昭和	昭和16年	昭和22年
村/制度等	明治5年学制 明治6年大区小区制	明治8年名称変更 通達(6月)		明治11年大区 小区制廃止 明治12年教育令		学校組合	小学校令	明治22年 久留米村成立				国民学校令	昭和22年教育基本 法・学校教育法
前澤村	三 併 学 舎	前南学舎	前澤学校	柳窪前澤学校	第126番2小学 成蹊学校 (前沢村)	成蹊学校 (前沢村新築)	成蹊尋常 小学校	成蹊尋常高等 小学校	西分教場 (旧成蹊学校)	昭和3年西分校 新築	昭和3年本校新 築・移転	久留米国民学校	久留米小学校
下里村		進明学舎	下里学校	下里学校									
柳窪村		福德学舎	柳久保学校	柳窪前澤学校									
小山村	黒湧学舎 (小山村)	小山学校	小山学校	第126番1小学 共立学校 (南沢村)	共立学校 (南沢村新築)	共立尋常 小学校	共立尋常高等 小学校	久留米村尋常高等 小学校(本校・前沢)	東分教場 (旧共立学校)	昭和3年東分校 新築・移転	久留米国民学校	久留米小学校	
落合村			門前学校										
門前村			門前学校										
神山村			小山学校										
南澤村	眞誠学舎分校 (南沢村)	田無学校分校 (南沢村)											
柳窪新田													
備考				南沢村・小山村・ 落合村・門前村・ 神山村・栗原新田 教育機関合併		小学校設置開申 提出	高等科は田無小 学校		明治43年実業補修学校	大正14年農業公 民学校に改称	昭和10年久留米青 年学校(12年東京 府へ移管)		



久留米村尋常高等小学校 明治39年開校 大正5年撮影



西分教場(旧成蹊学校) 大正8年撮影

明治17年に前沢村69番地(現八幡町二丁目10番)に新築した旧成蹊学校。明治22年に久留米村が成立すると、なかに村役場も置かれた。明治39年から西分教場。市指定旧跡。



東分教場(旧共立学校) 大正5年撮影

明治18年に南沢村673番地(現本町四丁目13番)に新築した旧共立学校。明治39年から東分教場。校舎の前にあったヒバの木が今でも1本残っている。市指定旧跡。

真中の道が現在の小金井街道。今の第1小学校の向かい側に久留米村小学校が開設された。2階建ての建物は前沢宿の旅館旧「江戸屋」を改築したもので、当初は仮校舎として使用した。

編集:東久留米市教育委員会教育部生涯学習課文化財係(東久留米市郷土資料室)  
203-0033 東久留米市滝山4-3-14 わくわく健康プラザ内 電話042-472-0051  
無断転載はしないでください